

第5回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和4年8月8日(月) PM7:00～9:00
場 所 新城市役所 4階会議室
出席者 委員 23名 事務局 3名

次第

- 1 会長あいさつ
 - 2 報告
(1) 令和4年度地域自治区予算の進捗状況について
 - 3 議事
(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について
-

1 会長あいさつ

- ・コロナの感染状況を鑑みオンライン会議とさせていただいた。

2 報告

- ・令和4年度地域自治区予算(多世代交流事業・子育て世代交流促進事業・地域防災連携促進事業)の進捗状況について

3 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ23人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について

(事務局説明)

- ・前回出た意見について市の担当課の取り組みや意向について

(市村副会長・赤川副会長)

- ・東郷地域の足を考える会の検討結果の報告について(グリーンスローモビリティについて)

○主な意見

委員 私が今考えているのは、部落ごとに車を出してくれる人を募集し登録してもらい、年会費という形で若干お金出してもらおう。地域の方の何名か登録してくれるような方がいれば、事務所を置き、地域の方が会員となって、利用したい人が都合のいいときに電話をかけ、予約が空いていれば地域の誰かにサポートしてもらい送迎してもらおうというような形はどうか。それが実際に国として認められるかどうかは私には分からないが、今までの話のグリスロやシニアカーとかそういうものは、車両の購入の問題がある。きめ細かな動きをするためには、グリスロでは問題があると思っているので、やっぱり地域ぐるみで動いていくことが望ましいのではないかな。

赤副会長 詳しい内容は、各柱ごとでやってもらえるととてもありがたい。全体の場では全体的な流れについて説明をさせてもらいたい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和5年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

1-1 地域交通検討事業

- ・グリーンスローモビリティは、車両価格や安全性を考えると今回は見送らせていただく。それから、グリスロの車両より中古の軽自動車であれば国道も運行できるので、地域で事務所を構えて、地域ぐるみで地域の人が高齢者の送り迎えを行う方が東郷には合っているのではないかと。併せて、路線の見直しも行き、住民にとって身近のものにすることも必要。
- ・グリスロを見送る代わりに、現在環境省でグリスロの調査研究モデル地区を各地に募集しているので、一応市の公共交通対策室の方で東郷地域をモデル地区として手を挙げてもらう予定。ただ、これは抽選になるので当選するかどうか分からない。
- ・それから北部線のバスが非常に認識しづらいので、わかりやすくしたらどうかという意見もあった。できればバスの車体をラッピングする予算の検討をしていただきたい。

1-7 新規事業

- ・特に高齢男性が家から出にくいので、少しでも家から出られるような方法として、麻雀やウォーキング、体操教室やコーヒーマイスター教室、料理教室などを色々な公民館で行えば、地域の方も出やすくなるのではないかと。これから詳細について考えていきたい。

柱2 守ろう

2-13 交通安全対策事業

- ・地域内の横断歩道全部に手旗を設置できればいいが、中には設置不可能なところもあるかもしれないので、可能なおところには設置していただきたい。

2-12 足下の安全対策

- ・台風等で倒木の恐れがある場所の伐採を進めていくのに膨大な費用がかかるので、市だけでは難しいのではないかとのことだった。ただ、県や市の予算を使うと即効性がないので、まずは危険だと思われる場所の調査をした方がいい。各区に依頼して危険箇所の調査、あとは市の職員による調査等をしていただいた後に予算を検討していきたい。

柱3 育てよう

3-6 新規事業

- ・予算化に向けて、子育て世代交流促進事業、関係人口創出促進事業、多世代交流事業はそれぞれの団体さんが運営し事業をやってくれているので、予算についてはその団体とのやりとりの中で概ね見通しがついてきた。
- ・8月21日に初めて動き出す東郷学び学校のチラシも皆さんご覧いただいているが、それ

についてまず今回の企画や宣伝でどのぐらいの集客があったかとか、やってみた振り返りを1度行いたい。今年12月にもう一回開催するときに、そのイメージを持って今度はどのように開催した方がいいのではないかなどを検討したい。今回はテーマを先に決めていて、大きなテーマの中で具体的に個別の講師にお願いしていたけれども、ひょっとしたら、今度はターゲットを絞るところから企画を考えた方が面白いかもというような話の中で、前から話が出ているが、国際交流協会さんと一緒にコラボレーションすることで東郷地区に住んでいる外国人の方とクロスするような機会をどうしたら設けることができるのかを、東郷学び学校の中で一つのコーナーとして企画できたらいい。そのようなイメージを持って、国際交流協会さんと具体的に話をしていけたら、事業の内容にも膨らみが出たり、国際色も豊かになるような企画となっていく。

柱4 学ぼう

4-6 新規事業

- ・来年度予算化する内容としては、もつくる新城から少しの時間を使って散歩ができるようなウォーキングマップを作りたい。デザイン費用を含むA3サイズの6つ折りでカラー1,000枚の仕様で見積もりをお願いしたい。

4-1 長篠・設楽原の戦い歴史検定作成事業

- ・今年度作成を予定している検定試験初級版の問題集の増刷。また、来年度から検定試験を始める予定なので、合格した証である認定証と、ちょっとした賞品を考えていきたいが、私たち大人が考えるよりも今検定試験を考えてくれている中高生がいるので、その子達とも相談して決めた方がいいのでは、ということで、実行委員会に一任したい。あとは、今年度諦めた動画の話の話を雑談としてさせていただいたが、検定試験が始まる頃にはその宣伝も含めて動画が作れるといいということで、今回は先送りにはするけれどもいずれ作っていききたい。

柱5 楽しもう

5-1 東郷 PR 事業

- ・東郷のホームページを専門家にチェックしてもらったら、まだまだ自立には改善をしていかないといけないということが分かった。どのようにホームページを充実していくか。それから、市から独立できるような方策を探るといことで、自立のための予算を来年度取っていききたい。委員の皆さんには、ホームページについて良い案があったら広報 PR 部に投げかけていただきたい。

5-3 スポーツバイク普及推進事業

- ・運営スタッフが不足しているということなので、スタッフ募集用のチラシデザインを年内にある程度案を作って、2月の協議会で承認し、4月には印刷できるように取りかかりたい。ケッターパークのチームの方に、チラシ案を作っていただくようお願いしたい。

5-4 新規事業

- ・電子回覧板は、近隣では豊川市でやっているのので、情報収集してできるかできないかを考

えていきたい。来年度は、情報収集をして、事業案を作り、再来年度に向けてどうするかということを考えていきたい。それからもう一つ、スマホの講習会の話が出た。スマホを持っていない人に対して、スマホの教室をやったらどうか。まだ案の状態なので決定するかどうかは今後検討していきたい。

○主な意見

委員 ホームページが市から独立するしないという話になっているけれども、する場合としない場合でそれぞれメリットとデメリットあるかと思うが、どんなことがメリットでどんなことがデメリットだと考えているのか。

委員 この間ワークキャリアの中でホームページに大変詳しい方とお話をさせていただいたが、例えば設楽原の戦いを検索エンジンで検索した場合に、わくわくするまち東郷のホームページは出てこない。現状、ある程度の数の方にホームページを見ていただいているが、ホームページの運営費を自分たちで賄ってやっていくだけの件数にはなっていない。メリットから言えば、独立することがメリットとなる。まず、その部分を自分たちで稼げるようになっていくと、当然東郷地域協議会が提案する市の予算は使わなくて済む。それから、自分たちで稼げるのであれば、自分たちでいろいろ計画してやっていくことが出来るので、もっと活動の幅が広がっていくというのが一つあると思う。本来他の事業でもそうだと思うけれども、自分たちで活動が出来ていくのであれば、市に頼らずに活動が出来るといことなので、東郷地域の発展に非常に貢献する可能性があるのではないかというのが大きなメリット。デメリットには、本当にどのような形で進んでいくかというのをきちんと決めないといけない。利益を上げたりしていけば、いろいろな考え方があるので、きちんとホームページを管理していくことをしていけないといけないところもあると思う。しかし、まだそこまでは意見の中でも出てきていない。ただ、今の状況で続けていくのはどうなのかという意見もある。もうかれこれ1年4ヶ月の間活動してきたが、週1回のペースで記事を上げていくというのはなかなか大変。メンバーも新しく若い人が入っているが、最近顔見せない方もいる。私は編集部長としてやっている中で、PR部員には4,000円の記事執筆料が出ているが、今のペースで5年、10年続けていくのは、この苦労を考えたら、そこまで続ける自信は正直いってない。例えば、この活動がなくなってしまうと、今まで東郷地域の中で頑張ってきた一つの活動なので、どんなデメリットが出てくるかというのは皆様のご想像に任せる。そういった中で一つ、もう一つ上の段階に行ってみる価値はあるのではないかと思う。

会長 1週間に記事を一つずつ上げていくことは大変だと思うが、やっぱりそれを上げていかなないと閲覧数は上がらないのか。

委員 記事をあげるペースではなく、記事の内容が大事となる。ただ単に1週間に1回上げればいいということではなく、ホームページで収入を得るための一つの方法としては、例えばホームページ上に広告を貼り、その広告を見た人がクリックする。クリックしてその商品を買ったとなったときに、いくらか入ってくるというのが一つの方法。他にも稼げる方法は色々あるらしいが。そうするためには、ある程度の人に見てもらいクリックをしてもらって、さらに商品を買うところまで辿り着くのに、やっぱり見る人の母数が多ければ多いほどそれが増える。そういった意味で言うと、そのホームページ

を見ていただいている今の数ではちょっと物足りない。そのようなアドバイスをいただいている。

委員 なかなかそこで採算合わせるなんて大変なことだと思うが、それだけの魅力のある内容を作っていないといけないので大変だと思う。

委員 東郷の場合、本当に長篠・設楽原というすごい魅力的なものがあるし、それだけではなくて、ホームページの運営を地域でやっているというところは、なかなか珍しい事例であり、それも魅力のひとつ。

会長 長篠・設楽原の戦いだけに頼っていてもいけないと思うが。

委員 本当に、市から離れるというのは一つ大きなメリットだと思う。どうしてもやりたいことがあっても、市の事業としてやっていると、どうしてもここまでという枠ができてしまうのだけれど、市から離れることで情報についてもかなり自由度が上がると思うので、ぜひ頑張っていたきたい。

会長 建議に向けて具体化出来るものは予算化していくということで、皆さんの努力が報われるように頑張りたい。

【21:00 終了】